

○なんとかならないのか ～危険な通学路、村岡トンネル～



本校生の通学方法をみると、徒歩 17%、バス 22%、車での送迎 41%、そして自転車で通学する生徒は 20%です。射添、小代方面から来る自転車通学生は、国道 9 号線の村岡トンネルを通過してきます。

生徒との面談の中で、「トンネルの中でクラクションを鳴らされたので怖かった」「自転車で来たいけどトンネルが…」「トンネルを広げて」という声を聞きました。村岡トンネルには、両端に少し自転車や歩行者が通行するスペースはありますが、十分な広さがあるとはいえません。トンネルの入り口には「自転車、歩行者に注意」という看板があるものの、通学時間帯はかなりの交通量です。トンネルの改修は、そう簡単にはいかないと思いますが、機会あるごとに話したいと思います。生徒には、ライト点灯、反射板の整備、バランスを崩さないように端を走行等の指導とともに、「事故のないように、気をつけて」と願うばかりです。

○誰が片付けるの? ～ゴミ箱を見て思う～



校門を入ったところの坂に、ゴミ箱が設置してあります。生徒集会室にある自販機で購入したジュースの紙コップや空き缶、ペットボトルが捨てられています。このゴミ箱は校務員の野村さんに定期的に片付けていただいています。

階段踊場の掃除ロッカーの横にゴミ箱があります。文化祭の時から同じ状態でした。

コンビニや道の駅に設置してあるゴミ箱の使用マナーの悪さがよく言われます。自分たちの使う学校、生徒たちには、しっかりしたマナーを身につけさせたいものです。

